

# 液状化に関する情報提供

---

住宅購入者等に対し、液状化に関する情報提供を行う一定の仕組みを整備

- ・ 評価／等級表示なし
- ・ 評価書の特記事項に記載

[提供する情報の充実のための検討を継続実施]

### 提供情報のイメージ

液状化発生可能性に関する広域的情報  
(マクロデータ)

地方公共団体等が公表している液状化ハザードマップ、被災履歴等の情報

液状化発生可能性に関する住宅敷地の情報  
(ミクロデータ)

地盤調査の記録  
※ ボーリング又は、これに準じた方法等の地盤調査から得た液状化発生可能性に関する情報

液状化対策工法の情報  
(住宅に対するもの)

杭基礎等、住宅に係る液状化対策として実施する工法

【新築住宅・既存住宅】

項目	内容	
液状化に関すること	(イ)液状化発生の可能性に関する広域的情報	
	微地形分類	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【該当する微地形名称】(埋め立て) 【備考】(国土地理院発行の土地条件図による)
	液状化マップ	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【危険度判定に関する表記】(表記:やや高い) 【備考】(〇〇市液状化マップ)
	その他土地利用履歴に関する資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【旧土地利用】(種別:沼地、水田、 <u>自然堤防</u> 、三角州、その他) 【備考】(明治40年古地図判読による)
	液状化履歴に関する情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【記入欄】 1987年2月千葉県東方沖地震において、近隣で液状化発生の記録あり
(ロ)液状化発生の可能性に関する個別の住宅敷地の情報		
敷地の地盤調査の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【地盤調査】 (方法: <u>スウェーデン式サウンディング試験</u> 、標準貫入試験、その他( )) (数量:深度5m×4か所、深度10m×1か所) 【試料採取】 <input checked="" type="checkbox"/> 試料採取あり <input type="checkbox"/> 試料採取なし 【備考】(スウェーデン孔より砂層の試料採取)
宅地造成工事	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 造成図面あり <input type="checkbox"/> 造成図面なし 【備考】(昭和53年〇〇公団による宅地造成・分譲)
液状化対策工事の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明	【工法種別】(締固め、 <u>固化</u> 、排水、その他( )) 【工法名称】(〇〇工法) 【施工時期】(平成24年8月頃) 【工事内容】(深度5mまで2.5m間隔正方形配置) 【工事報告書】( <u>あり</u> 、なし)

項目	内容	
液状化に関すること	その他地盤に関する工事の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法分類】(盛土、不同沈下対策、 <u>交通振動対策</u> 、その他) 【工法名称】(〇〇工法) 【施工時期】(平成23年4月頃) 【工事内容】(深度7mまで、柱状改良) 【工事報告書】( <u>あり</u> 、なし)
	地下水位の情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【地下水位】(地表面から2.0 m付近) 【測定方法】(スウェーデン孔を使用) 【備考】( )
	地盤調査から得た液状化に関する指標	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【記入欄】 例1:スウェーデン式サウンディング試験結果から建築基礎構造設計指針のFL法でDey値=16と算出
	(ハ)液状化発生の可能性に関する当該住宅における対策の情報	
住宅基礎対策の記録・計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> 【地盤が液状化しても住宅に傾斜等の支障がほとんどないと想定される工法】(杭基礎、〇〇など) (工法名称: ) (杭基礎の支持層への到達:到達、未到達、杭長 m) <input checked="" type="checkbox"/> 【地盤が液状化することで住宅に傾斜等の支障はあるが修復の容易性を予め確保可能な工法】(ジャッキアップ機構、剛性の高い基礎構造、〇〇など) (工法名称:〇〇工法) (工事内容:布基礎内部にジャッキアップスベースの確保、布基礎の剛性強化)

【新築住宅・既存住宅】

項目	内容	
液状化に関すること	(イ)液状化発生の可能性に関する広域的情報	
	微地形分類	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【該当する微地形名称】(埋め立て) 【備考】(国土地理院発行の土地条件図による)
	液状化マップ	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【危険度判定に関する表記】(表記:やや高い) 【備考】(〇〇市液状化マップ)
	その他土地利用履歴に関する資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【旧土地利用】(種別:沼地、水田、 <u>自然堤防</u> 、三角州、その他) 【備考】(明治40年古地図判読による)
	液状化履歴に関する情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【記入欄】 1987年12月千葉県東方沖地震において、近隣で液状化発生の記録あり
	(ロ)液状化発生の可能性に関する個別の住宅敷地の情報	
	敷地の地盤調査の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【地盤調査】(方法: <u>スウェーデン式サウンディング試験</u> 、標準貫入試験、その他( )) (数量:深度5m×4か所、深度10m×1か所) 【試料採取】 <input checked="" type="checkbox"/> 試料採取あり <input type="checkbox"/> 試料採取なし 【備考】(スウェーデン孔より砂層の試料採取)
	宅地造成工事	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> 造成図面あり <input type="checkbox"/> 造成図面なし 【備考】(昭和53年〇〇公団による宅地造成・分譲)
	液状化対策工事の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法種別】(締固め、 <u>固化</u> 、排水、その他( )) 【工法名称】(〇〇工法) 【施工時期】(平成24年8月頃) 【工事内容】(深度5mまで2.5m間隔正方形配置) 【工事報告書】( <u>あり</u> 、なし)

項目	内容	
液状化に関すること	その他地盤に関する工事の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法分類】(盛土、不同沈下対策、 <u>交通振動対策</u> 、その他) 【工法名称】(〇〇工法) 【施工時期】(平成23年4月頃) 【工事内容】(深度7mまで、柱状改良) 【工事報告書】( <u>あり</u> 、なし)
	地下水位の情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【地下水位】(地表面から2.0m付近) 【測定方法】(スウェーデン孔を使用) 【備考】( )
	地盤調査から得た液状化に関する指標	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【記入欄】 例1:スウェーデン式サウンディング試験結果から建築基礎構造設計指針のFL法でDey値=16と算出
	(ハ)液状化発生の可能性に関する当該住宅における対策の情報	
	住宅基礎対策の記録・計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 未定 【工法分類】(沈下修復システムの先行組込) 【工法名称】(〇〇工法) 【工事内容】(布基礎内部にジャッキアップスペースの確保、布基礎の剛性強化)

(意見数: 75件)

## ○液状化マップやポータルサイトをより一層充実してほしい

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
液状化関連情報ポータルサイトについては、データだけでなく利用者の視点に合わせた資料を掲載する等、より有用になるよう心がけていただきたい。	ご意見を踏まえ、可能な限りポータルサイトや液状化マップを充実するよう努力。
全国的な同条件での液状化マップの整備をしていただきたい。	

## ○任意である旨、契約みなしの内容とならない旨等、位置づけを明確にしてほしい

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
任意である旨を解説書などで明確にしていきたい。	契約みなしの内容とならないよう参考情報として整理するとともに、解説書等で周知。
記載される情報は申請時点での情報であり、将来に渡って保証されるものではない旨を解説書などで周知を図っていただきたい。	
特記事項である液状化に関する情報が、契約みなしの内容とならないことを明確にすべき。	

## ○記載項目について、具体的に示してほしい

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
液状化対策工事の記録について、液状化対策工事として有効な工法を示していただきたい。	引き続き、専門家のご意見も踏まえ、検討を進め、解説書等で周知。
どの程度詳細に記載すればよいか、また、記載根拠としてどの程度の資料を参照すればよいかを解説書などで明示していただきたい。	

# 液状化に関する情報提供について(改正案)

○東日本大震災を踏まえ、専門家への相談や流通時の判断材料として活用できるよう、液状化に関する情報提供を行う。

○液状化に関する情報提供は、把握されている情報を、評価書に参考情報として記載する。  
当該参考情報については、契約のみなし内容にあたらないよう位置づける。

## 提供情報のイメージ

[提供する情報の充実のための検討を継続実施]

### 液状化に関する広域的情報 (マクロデータ)

地方公共団体等が公表している液状化ハザードマップ、被災履歴等の情報

### 液状化に関する住宅敷地の情報 (ミクロデータ)

地盤調査の記録  
※ ボーリング又は、これに準じた方法等の地盤調査から得た液状化発生可能性に関する情報

### 液状化に関連して行う住宅基礎等に関する工事の情報 (住宅に対するもの)

杭基礎等、住宅基礎等に関する工事

## 施行時期

○平成27年4月施行予定

# (参考)液状化に関する情報提供のイメージ[評価書の参考情報欄の記載例]

## 【新築住宅・既存住宅】

項目	内容	
液状化に関すること	<b>(イ) 液状化に関する広域的情報</b>	
	微地形分類	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【該当する微地形名称】 (埋め立て ) 【備考】 (国土地理院発行の土地条件図による )
	液状化マップ	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【危険度判定に関する表記】 (表記: やや高い) 【備考】 (〇〇市液状化マップ)
	その他土地利用履歴に関する資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【旧土地利用】 (種別: 沼地、水田、自然堤防、三角州、その他) 【備考】 (明治40年古地図判読による )
	液状化履歴に関する情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【記入欄】 1987年12月千葉県東方沖地震において、近隣で液状化発生の記録あり
	<b>(ロ) 液状化に関する個別の住宅敷地の情報</b>	
	敷地の地盤調査の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【地盤調査】 (方法: 標準貫入試験、スウェーデン式サウンディング試験、その他 ( )) (数量: 深度5m×4か所、深度10m×1か所 ) 【試料採取】 <input checked="" type="checkbox"/> 試料採取あり <input type="checkbox"/> 試料採取なし 【備考】 (スウェーデン孔より砂層の試料採取 )
	宅地造成工事の記録	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 <input checked="" type="checkbox"/> 造成図面あり <input type="checkbox"/> 造成図面なし 【備考】 (昭和53年〇〇公団による宅地造成・分譲)
	液状化に関連して行う地盤に関する工事の記録・計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法種別】 (締固め、固 <del>化</del> 、排水、その他 ( )) 【工法名称】 (〇〇工法 ) ※記載できる種別・名称は技術解説書で示す予定 【施工時期】 (平成24年 8月頃) 【工事内容】 (深度5mまで2.5m間隔正方形配置) 【工事報告書】 (あり、なし)

項目	内容	
液状化に関すること	その他の地盤に関する工事の記録・計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法分類】 (盛土、不同沈下対策、交通振動対策、その他) 【工法名称】 (〇〇工法 ) 【施工時期】 (平成23年 4月頃) 【工事内容】 (深度7mまで、柱状改良) 【工事報告書】 (あり、なし)
	地下水位の情報	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【地下水位】 (地表面から2.0 m付近) 【測定方法】 (スウェーデン孔を使用 ) 【備考】 ( )
	地盤調査から得た液状化に関する指標	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 【記入欄】 例1: スウェーデン式サウンディング試験結果から建築基礎構造設計指針のFL法でDey値=16と算出
	<b>(ハ) 液状化に関する当該住宅における工事の情報</b>	
液状化に関連して行う住宅基礎等に関する工事の記録・計画	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明 【工法分類】 (沈下修復システムの先行組込) 【工法名称】 (〇〇工法 ) ※記載できる分類・名称は技術解説書で示す予定 【施工時期】 (平成25年4月 ) 【工事内容】 (ベタ基礎(基礎の剛性強化)、ジャッキアップスペースの確保)	

※緑字は前回からの修正箇所

※表現等については、今後も検討を継続実施

品確法の省令を改正し、住宅性能評価を行った住宅の性能等とは別に、新たに液状化について参考となる事項を追加

(住宅性能評価書に記載すべき事項)

第一条 住宅の品質確保の促進等に関する法律(以下「法」という。)第五条第一項の国土交通省令・内閣府令で定める事項は、次に掲げるものとする。

- 一 申請者の氏名又は名称及び住所
- 二 住宅性能評価を行った新築住宅にあつては、当該新築住宅の建築主及び設計者の氏名又は名称及び連絡先
- 三 建設された住宅に係る住宅性能評価(以下「建設住宅性能評価」という。)を行った新築住宅にあつては、当該新築住宅の工事監理者及び工事施工者の氏名又は名称及び連絡先
- 四 住宅性能評価を行った既存住宅(新築住宅以外の住宅をいう。以下同じ。)にあつては、当該既存住宅の所有者(当該既存住宅が共同住宅、長屋その他一戸建ての住宅(住宅の用途以外の用途に供する部分を有しないものに限る。以下同じ。)以外の住宅(以下「共同住宅等」という。)である場合にあつては、住宅性能評価を行った住戸の所有者に限る。)の氏名又は名称及び連絡先
- 五 住宅性能評価を行った既存住宅にあつては、新築、増築、改築、移転、修繕及び模様替(修繕及び模様替にあつては、軽微なものを除く。)の時における当該既存住宅の建築主、設計者、工事監理者、工事施工者及び売主の氏名又は名称及び連絡先(国土交通大臣及び消費者庁長官が定める方法により確認されたものに限る。)並びにその確認の方法
- 六 住宅性能評価を行った住宅の所在地及び名称
- 七 住宅性能評価を行った住宅の階数、延べ面積、構造その他の当該住宅に関する基本的な事項で国土交通大臣及び消費者庁長官が定めるもの(国土交通大臣及び消費者庁長官が定める方法により確認されたものに限る。)及びその確認の方法
- 八 住宅性能評価を行った住宅の性能その他日本住宅性能表示基準に従って表示すべきもの
- 九 住宅性能評価を行った既存住宅にあつては、住宅性能評価の際に認められた当該既存住宅に関し特記すべき事項 (前号に掲げるものを除く。)
- 十 住宅性能評価書を交付する登録住宅性能評価機関の名称及び登録の番号
- 十一 登録住宅性能評価機関の印
- 十二 住宅性能評価を行った評価員の氏名
- 十三 住宅性能評価書の交付番号
- 十四 住宅性能評価書を交付する年月日

「申請者からの申出があつた場合には、当該住宅に関し液状化について参考となる事項」を追加

※文言については、今後修正の可能性あり



## (住宅性能評価書等と契約内容)

第六条 住宅の建設工事の請負人は、設計された住宅に係る住宅性能評価書(以下「設計住宅性能評価書」という。)若しくはその写しを請負契約書に添付し、又は注文者に対し設計住宅性能評価書若しくはその写しを交付した場合においては、当該設計住宅性能評価書又はその写しに表示された性能を有する住宅の建設工事を行うことを契約したものとみなす。

2 新築住宅の建設工事の完了前に当該新築住宅の売買契約を締結した売主は、設計住宅性能評価書若しくはその写しを売買契約書に添付し、又は買主に対し設計住宅性能評価書若しくはその写しを交付した場合においては、当該設計住宅性能評価書又はその写しに表示された性能を有する新築住宅を引き渡すことを契約したものとみなす。

3 新築住宅の建設工事の完了後に当該新築住宅の売買契約を締結した売主は、建設された住宅に係る住宅性能評価書(以下「建設住宅性能評価書」という。)若しくはその写しを売買契約書に添付し、又は買主に対し建設住宅性能評価書若しくはその写しを交付した場合においては、当該建設住宅性能評価書又はその写しに表示された性能を有する新築住宅を引き渡すことを契約したものとみなす。

4 前三項の規定は、請負人又は売主が、請負契約書又は売買契約書において反対の意思を表示しているときは、適用しない。